

安八の昔話

(147)

北今ヶ淵地区

文 日本児童文学者協会会員

小森 波鐘子

## 一いつといつの手作業

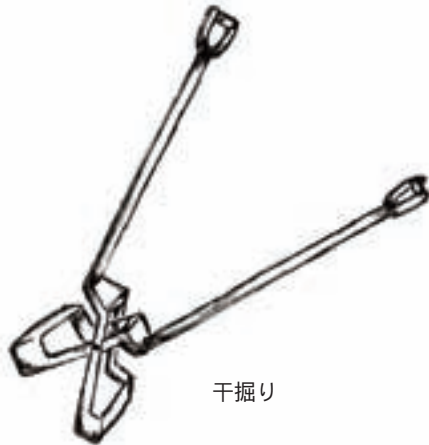
収穫とらひねがすんだ田んぼに細長い溝を掘る。湿しめった田んぼの水抜きひえぬをするんやさ。

足で踏んで土を切り抜く干掘りひえりには左右に柄てがついとつとてそれを開くとサイコロのような土の固まりが出てきた。

四角い土を乾かわかし粉こなのように砕くだいて稲の苗床なえどに使う。土一つにしても無駄にせんよう上手に使いまわしをしとつたんやさ。やがて農作業は機械化され手作業の水抜きひえぬは、ほとんど見かけんようになつた。

農耕のうこうの動力が溝を掘るようになり、苗床の土は、購入する家が多くなつたんやさ。

溝の深さは二十五センチ前後で土の固まりの大きさは二十センチから二十五センチの立方体。ところによっては水抜きひえぬを湿しけ抜きぬとも言われている。



干掘り

協力者

白木 信行さん (72歳)

坂井田 なみ子さん (89歳)

古澤 峰子さん (87歳)

榎橋 妙子さん (73歳)

湿け抜きぬをされている方の田んぼを見せていただきました。

## ちょっと寄り道『安八町』

～おんせん朝市(安八温泉前)～

毎月第1日曜日の午前9時、安八温泉の前は活気で満ち溢れています。

ここは『おんせん朝市』。

店頭には並びのはふるさこの温かさと笑顔、そして自慢の味です。

皆さまのお越しをお待ちしています。

◆問い合わせ先

安八町役場 産業振興課

☎0584・64・7113(直通)



安八町の各種特産品を取り揃えています



新鮮な地元産の野菜を求めて売り場は大賑わい



温かい甘味でホッと一息!

新年は1月5日(日)、午前9時からです。  
※この日は『ぜんざい』の無料サービスあり!!